OVATION Legend 2077LX

価格＝260,400円（ハード・ケース付）

新しいボディ形状が採用されたレギュラー・ライン登場

2005年と2006年に、コレクターズ・シリーズに採用されたことで大きな話題となった、オベーションの新しいボディ形状“ディープ・コンタード・ボディ”が使用されたレギュラー・モデル、レジェンド2077LXが登場した。またこのモデルは、従来のオベーションから大きくアコースティック側へとトーンをシフトした、LXシリーズを代表するモデルでもある。

レジェンド2077LXの最大の特徴と言えるのは、何といってもその独特なボディ形状だろう。これまでオベーション・ラインには、スーパー・シャロウからディープ・ボウルまで、４種類の主立ったボディ厚が用意されていた。今回のギターに採用されたディープ・コンター・カッタウェイ・ボディは、ディープ・ボウルの持つアコースティックな響きを継承しながらも、より薄い約６インチのボディ厚を実現。そして同時に、様々な工夫やアイディアが盛り込まれている。まず、ボディが薄くなったことで容積は減っているが、ピッキングによって起こるボディ内部の空気の流れを、新しいバック形状が効率的にコントロールすることで、トータルの音圧を稼いでいる。コンター加工の名前が示すとおり、ボディ・バック部分はプレイヤーの体にフィットする形状になっているので、立った時、さらに座っていても安定感が向上している。また、LXシリーズで採用されたリラコードGSは、オリジナル樹脂／リラコードを成形する過程で極小の気泡を封入することで、従来よりも約30%あまりの軽量化を実現している。加えて、薄くなったサウンドボード、スキャロップドＸブレイシング等によって生まれる豊かなボディ振動によって、驚くほどリアルな感触が伝わってくる。

プリアンプ、OPプロ・スタジオも大きな魅力。オベーション・トーンの要と言える特徴的なプリアンプ・トーンに加えて、３バンド・イコライザー、そして新たに加えられたのがピッキング・レベルを安定させるコンプレッサー／リミッターと倍音構成を強調するエキサイターである。さらに、オート・チューナーが組み込まれているのも嬉しい。



弾きやすさ、響きを良くする複雑な形状の“ディープ・コンタード・ボディ”を採用。



新たにコンプレッサー／リミッター、エキサイターが付いたOPプロ・スタジオ・プリアンプ。